【取組内容】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

低学年の段階から端末を家庭に持ち帰り、オンラインドリルを活用した家庭学習に取り組んだ。児童にとっては、自分のペースで学習を進められ、苦手な問題を繰り返し学習できるというメリットがある。また、ゲーム感覚で楽しく学べるため、学習意欲の向上も期待できる。教師にとっては、児童の学習状況をデータで把握でき、一人ひとりに合った指導がしやすくなる。さらには、家庭学習の準備時間を削減することもできる。中学年以上は、時間割の連絡をスプレッドシートを用いて知らせることも行い、児童に次の日の学習の予習を促すことができた。

*パソコンについて・・・火曜日に学校にもってきて木曜日に持って帰るよう指導しています。夏休みまでは金曜日の宿題は (オンラインドリル)を使用します。



